

講 義

南会津

令和8年度

学力向上担当者等研修会

令和8年6月25日（木）



福島県教育庁南会津教育事務所



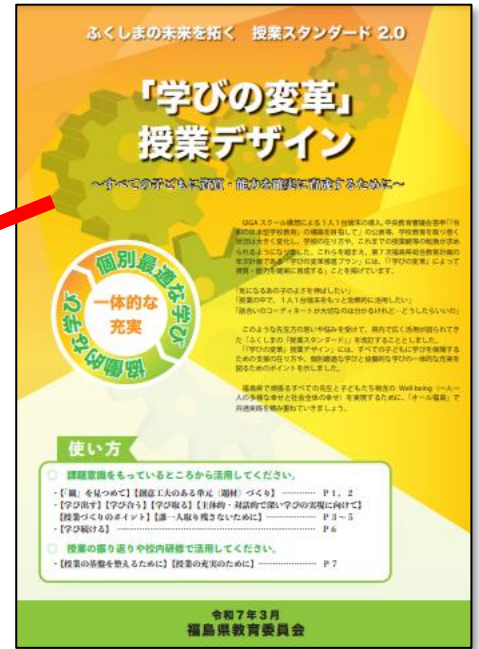
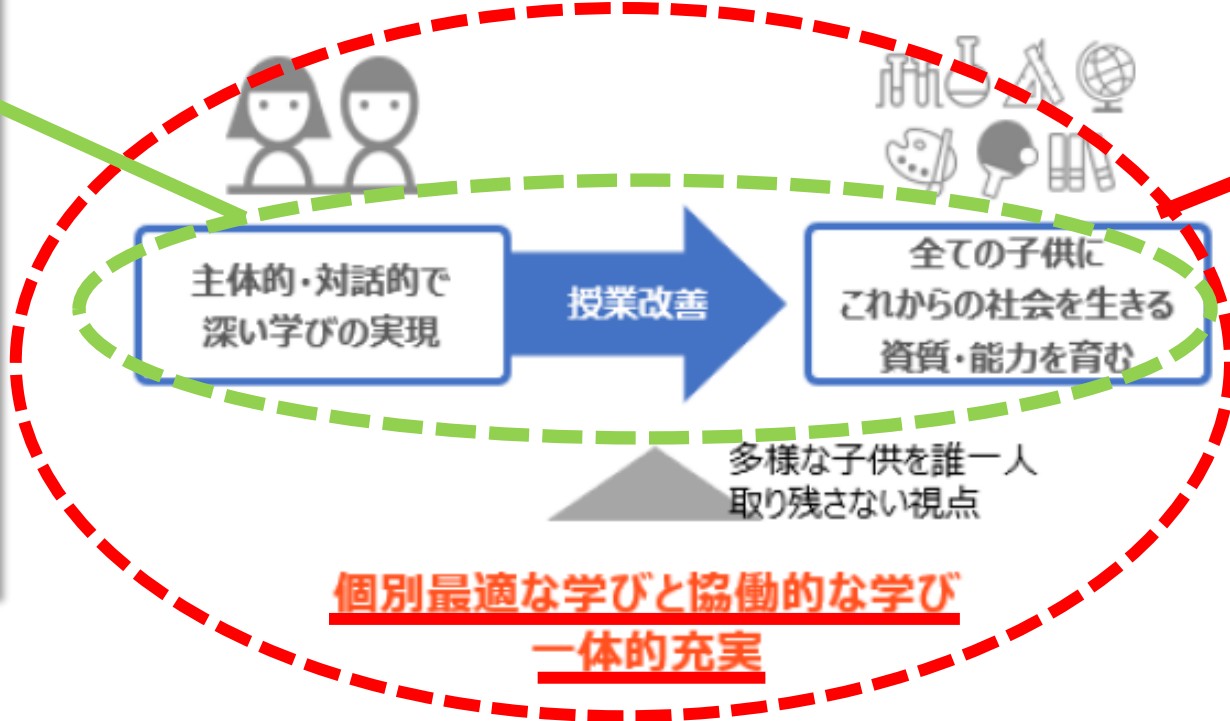
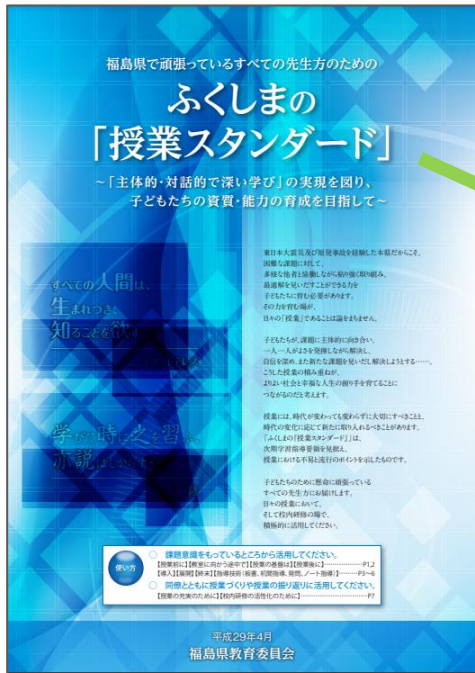
ふくしまの未来を拓く 授業スタンダード2.0

1 「学びの変革」 授業デザインの活用について



Q 「学びの変革」 授業デザインとは？

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、
 誰一人取り残さない形で、
 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



サポートマガジン『みるみる』（文部科学省|授業づくりnote）

目的

資質・能力の育成

	手段 (知りたいこと)	資料	備考
準備	単元づくり	▶ 授業スタンダード p.1 ▶ 「学びの変革」授業デザイン p.2	
	授業づくり	▶ 授業スタンダード p.1	
	自立活動「個別の指導計画」	▶ リーフレット(補足資料7)	
	(子ども観)	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.1	
	(学力観)	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.1	
導入	(授業観)	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.1	
	(評価観)	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.1	
	教材との出会い (学習課題の把握)	▶ 授業スタンダード p.3 ▶ 「学びの変革」授業デザイン p.3	
	探究的な学び (学習課題づくり)	▶ 「学びの変革」ガイド	
	問いを見出す	▶ リーフレット	
展開	計画・方向付け・見通し	▶ 授業スタンダード p.4	
	追究・解決	▶ 授業スタンダード p.4 ▶ リーフレット	
	個別最適な学び	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.4	
	異取りと支援	▶ 授業スタンダード p.4 ▶ 「学びの変革」授業デザイン p.3	
	協働的な学び	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.4 ▶ 「学びの変革」ガイド	
	ペアやグループ・学級全体での話し合い	▶ 授業スタンダード p.5 ▶ リーフレット (補足資料3・4)	
	学び合いのコーディネート	▶ リーフレット ▶ 「学びの変革」授業デザイン p.4	
	まとめ・振り返り	▶ 授業スタンダード p.6 ▶ リーフレット	
	教師の姿勢	▶ 授業スタンダード p.2	
	望ましい人間関係	▶ 授業スタンダード p.2	
その他	(生徒指導室誌上の視点)	▶ リーフレット (補足資料6) ▶ 「学びの変革」授業デザイン p.3~5	
	子ども一人一人に応じた支援	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.3	
	授業における学び	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.5	
	自立活動	▶ リーフレット (補足資料7)	
	承認・称賛・価値付け	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.3	
	学習規律	▶ 授業スタンダード p.2	
	発問	▶ 授業スタンダード p.4~5	
	言語活動	▶ 授業スタンダード p.3	
	1人1台端末の活用	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.4	
	ノート指導	▶ 授業スタンダード p.6	
その他	板書	▶ 授業スタンダード p.3	
	家庭学習	▶ 「学びの変革」授業デザイン p.6	
	チェックシート	▶ 授業スタンダード ▶ 授業改善グランドデザイン ▶ 「学びの変革」授業デザイン ▶ 「学びの変革」ガイド	※授業改善GDと同じ内容 ※児童生使用
	全国学習結果の概要	▶ 授業改善グランドデザイン	その年度の内容
	質問紙の結果に見る福島の強みと課題	▶ 授業改善グランドデザイン	その年度の内容
	各教科の分析及び授業改善のポイント	▶ 授業改善グランドデザイン	その年度の内容
	課題克服に向けた授業改善のポイント	▶ 授業改善グランドデザイン	その年度の内容

オーダーが決まったら

例) 場面に応じて

○ 単元づくりの際のポイントは？

⇒ 授業スタンダード p.1

「学びの変革」授業デザイン p.2

例) 課題に応じて

○ 承認、称賛、価値付の方法は？

⇒ 「学びの変革」授業デザイン p.3

「学びの変革」授業デザインに基づく授業づくり

「観」を見つめて

教師がもつ「観」は、授業づくりや働きかけ、子どもの学びの質を大きく左右します。子ども観、学力観、授業観、評価観といった自分の「観」がどのようなものかを振り返ってみましょう。

子ども観 子どもは、どのような存在ですか？

- > 子どもは、自ら学びを進め、自ら成長していく存在です。
- 教師が、一つ一つの指示を与えなければ、子どもは動けないと思いませんか。
- 教師の経験や価値観で、子どもの実態や学び方を決めつけていませんか。「目の前の子どものありのままを受け止めましょう」
- 「子ども一人一人の力を信じ、引き出す支援の在り方を考えましょう」

学力観 どのような力を育てる必要があるのでしょうか？

- > 学力とは、子どもが自分の生き方を切り拓くために必要な力、実生活で生きて働く力です。
- 子どもが、課題を解決するための土台となる力は、知識・技能だけでしょうか。
- 学習態度がまじめというだけで、学力が身に付いているのでしょうか。
- 「何ができるようになるかを見据え、子ども一人一人に必要な資質・能力をバランスよく育てていきましょう」

授業観 どのような学びがふさわしいのでしょうか？

- > 教師が教えるべきところ、子どもに任せるところのバランスをとることが大切です。
- 教師が考える「唯一の正解」を、子どもに求める授業になっていませんか。
- みんなで同じことを、同じようにすることを求めていますか。
- 「教師が『話す』授業から、教師が『みる』『さく』『つなぐ』授業へ」
- 「すべての子どもが学ぶ目的や学び方を理解し、自立した学習者として、学び続ける授業を目指しましょう」

評価観 何のために、子どもの何を、どのように見取り、評価していますか？

- > 評価は、子どもの学習改善と、教師の指導改善につながるものにするのが大切です。
- 子どもが自身の学びを振り返り、次に向かうことができるような評価になっていますか。
- 努力を要する状況(C)にある子どもが、おおむね満足できる状況(B)に到達できるような支援の手立てを講じていますか。
- 「評定中心の評価から、子ども一人一人のよさと可能性を伸ばし、自己実現を援助する評価への転換を図りましょう」

一つの「観」にとらわれるのではなく、自分の「観」が子どもの実態や時代の変化にあったものなのか、絶えず見つめ直していくことが大切ですね。

観の転換 (P.2)

(子ども観/学力観/授業観/評価観)

実践協力校の取組より

【互いに「観」を読み合って感想を交流】
互いの「観」を共有することで、互いを認め合う前向きな考え方、教育活動への意欲等に触れることができ、教育に携わる同僚としての仲間意識の醸成にもつながった。

演習

教職5年目の先生の算数科の授業を参観します。

小学1年生10人のクラスです。

あなたは、何に最も注目して授業を参観しますか？

令和7年度
授業改善グランドデザイン
「学びの変革推進プラン」
施策1の推進に向けて
全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上の方路

1	全国学力・学習状況調査の結果の概要	P1～2
2	授業改善3つのポイント・チェックリスト	P3～4
3	各教科の結果概要	P5～10
4	学力調査と質問調査の分析	P11～12
5	授業改善のための情報リンク	P13

令和7年8月
福島県教育庁義務教育課

©すべてのデータは、福島県教育庁義務教育課WEBサイトからPDFでダウンロードいただけます。

 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056e>

または  福島県教育庁義務教育課 

全国学力・学習状況調査の結果から

2 「授業改善グランドデザイン」

教師が「話す」授業から、教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

4 課題克服に向けた授業改善3つのポイント



「感じて動」き出す」学びへ



1 学び出す

『確かめたい』『考えたい』『やってみよう』

すべての子どもが課題解決の見通しをもったり、解決方法を選択したりして、自ら動き出す授業にします。

2 学び合う

『話したい』『聞きたい』『話し合いたい』

すべての子どもが友だちの話に耳を傾け、自分の考えを確かめたり、新たにしたり、磨き上げたりする授業にします。

3 学びとる

『分かった』『できた』『がんばった』

すべての子どもが今日の授業で「自分は何がわかり、何ができるようになったのか」を実感できる授業にします。

教師が「話す」授業から、
教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

～ 授業改善チェックリスト ～

＜すべての子どもが「学び出す」授業にするために＞

- すべての子どもに結果の見通しをもたせたり、解決の見通しをもたせたりしている。
- すべての子どもの多様な見方や考え方を引き出すことができる学習課題を設定している。
- 教材との合わせ方を工夫し、「考えたい」「やってみよう」という思いを引き出すようにしている。

＜すべての子どもが「学び合う」授業にするために＞

- 友だちの考えを聞きたい、自分の考えを話したいと思う発問を設定している。
- すべての子どもが、互いの考えを比較、検討、吟味することができる時間を確保している。
- 子どもと子どもの発言をつないで、集団で学び合える授業づくりをしている。
- 分からないことを「分からない」と言える安全・安心に学べる学級になっている。
- 教師が話しすぎることなく、子どもが話す機会を多く確保している。

＜すべての子どもが「学びとる」授業にするために＞

- 授業で何がわかり、どのようなことができるようになったのか、自分の言葉で学んだことを振り返らせている。
- 学んだことを活用したり、次の学びにつなげようと考えたりする場面を位置付けている。
- 個に応じた振り返りの視点を与え、自分の成長や変容に気付くことができるようにしている。

- 子どもの学びから自分の指導を振り返っている。

令和7年度
授業改善グランドデザイン
「学びの変革推進プラン」
施策1の推進に向けて
全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上の方策

1	全国学力・学習状況調査の結果の概要	P1～2
2	授業改善3つのポイント・チェックリスト	P3～4
3	各教科の結果概要	P5～10
4	学力調査と質問調査の分析	P11～12
5	授業改善のための情報リンク	P13

令和7年8月
福島県教育庁義務教育課

©すべてのデータ等、福島県教育庁義務教育課WEBサイトからPDFでダウンロードいただけます。
https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/700056
または 福島県教育庁義務教育課

➤全国学力・学習状況調査の結果を受けて毎年8月に発行

➤各教科の分析と授業改善のポイント、児童生徒及び学校質問調査から見えること等を記載

➤今年度も8月に発行予定

職員全員でつくり、全員で実践！

3 学力向上グラウンドデザインの活用

○ 学力向上グラウンドデザインを活用して

サーベイ ・ フィードバック
調査 見える化・共有



【組織メンバーの対話を通して進めていく】

プロジェクトチームの結成

データを見ながら学校の現状（強みと課題）について話し合う

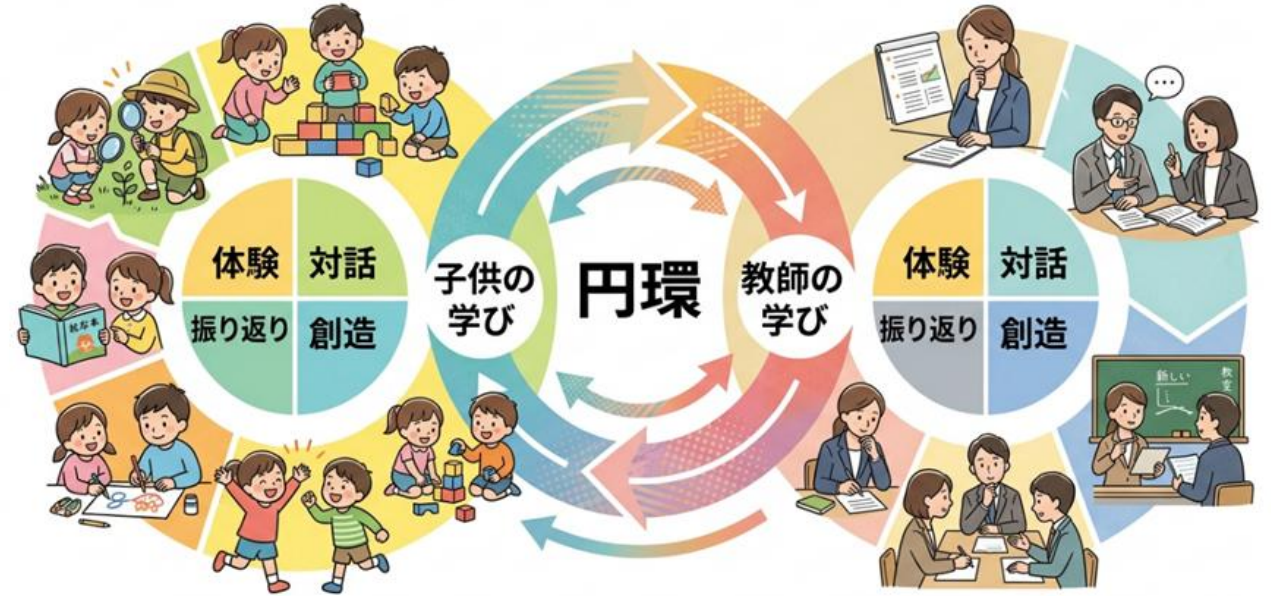
「打ち手」の案を考える

実践と振り返り、改善

○ 学力向上グランドデザインを活用して



子供の学びと教師の学びは相似形



「研修観」の転換

4 学力向上に向けた校内研修の充実を！

学力向上に向けた校内研修の充実



エビデンスを基にした実態把握

強みと課題の共有 = **方向性の共有**



学校全体で取り組む意識

※ エビデンス

- ・ 全国学力・学習状況調査
- ・ ふくしま学力調査
- ・ 学校評価アンケート など

※ 各種資料の活用

- ・ 授業改善グランドデザイン
- ・ 「学びの変革」授業デザイン
- ・ 取組事例集

学力向上に向けた校内研修の充実

研修観の転換

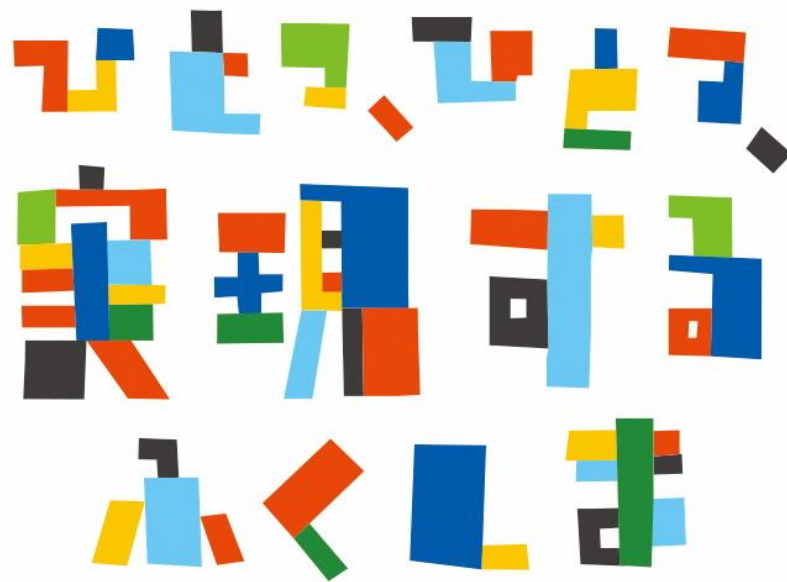
- ・ △やらされている研修 → ○やりたくなる研修
- ・ 慣例にとらわれない意識とチャレンジ
- ・ 対話、協働、リフレクション
 - 何でも話せる心理的安全性が対話を深めます。
 - 対話は、職員同士の相互理解にもつながります。
- ・ 焦点化と余白づくり（less is more.）
- ・ ポジティブな働きかけ
- ・ 若手の考えもいかされる

※ 外部人材の活用(県事業) …算数・数学授業づくり支援訪問、学力向上支援アドバイザー派遣

日々の業務、様々な課題への対応・・・あると思いますが、

学力向上を担当する先生方の取組が、
一人一人の先生方の意欲や資質能力の向上に、
子供たちの学力向上につながりますように





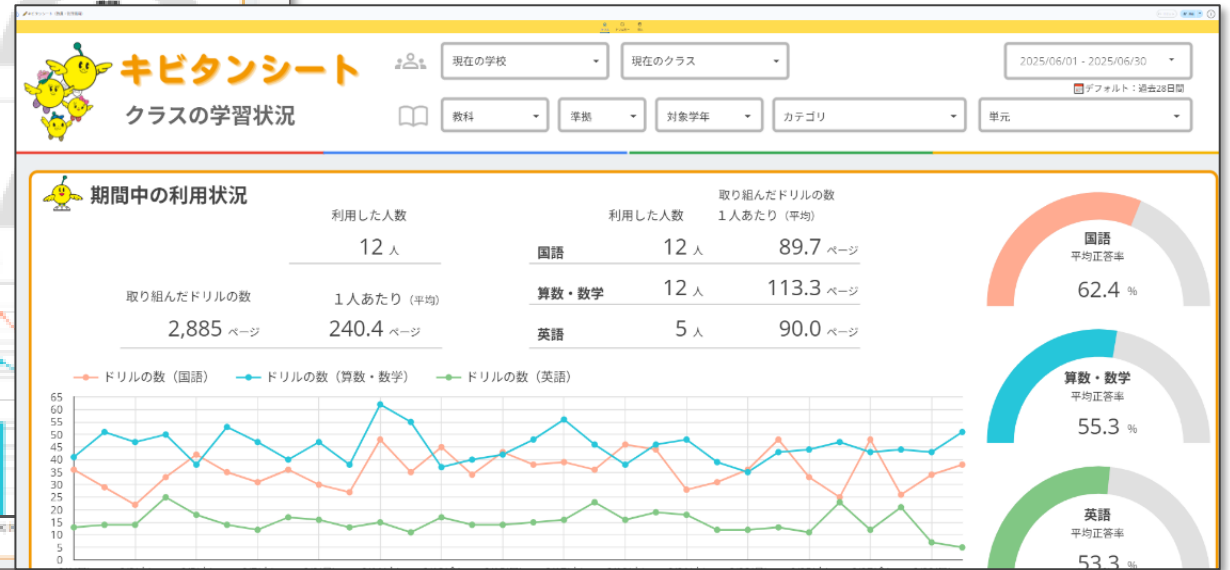
本当に「終わりに」

デジタルドリル キビタンシート (令和7年9月29日利用開始)



←児童生徒用

↓教師用



- 福島県が独自に開発したデジタルドリルです。
- 基礎・基本の問題を中心に、10分程度で解答できる国語、算数・数学、英語の問題のため、手軽に、すきま時間を使って取り組むことができます。
- 「ダッシュボード」で取組状況を教師も子どもも一目で確認することができます。

福島県教育委員会主催 授業の魅力化応援オンライン研修会

ひとりでは抱えない。みんなでつくる、これからの授業デザイン。

授業の魅力化応援オンライン研修会

「授業の魅力化応援オンライン研修会」では、定章教材の新たな価値の再発見、導点を見出した授業デザインの工夫、授業を支える学習づくりのポイントなど、教科の枠を超えて授業の魅力を最大化するヒントを凝縮しました。今ほしい情報や語り合いたいことに合わせて、ぴったりの講座をお選びください。

講座一覧（令和8年6月～8月実施分）

回数	教科等/日時	テーマ	主な対象	学校管理職による 受講申込期間	市町村教委による 受講申込期間
第1回	算数・数学科 6月8日(月) 15:30～16:30	算数・数学の授業づくりについて 第1回 ～授業で「学び出す」子どもを目指して～ 「『学びの変革』授業デザイン」にある「学び出す」に焦点を当て、算数・数学の授業づくりについて考える第1回目（全3回）です。子どもが算数・数学で動き出すための工夫について考えます。 (担当 義務教育課指導主事 奥 仁、先崎浩之)	小・中	5月25日(月)	5月20日(木)
第2回	複式指導 6月16日(火) 15:30～16:30	複式学級での「学び方指導」を考える ～ガイド学習の充実と学習リーダー育成を中心に～ 複式学級での授業づくり。「今のやり方で大丈夫？」そんな不安はありませんか？学習リーダーの育成やガイド学習などの「学び方の指導」を学びつつ、参加者同士で現場の悩みを共有することで、子どもの自立を促す授業を目指します。 (講師 県教育センター指導主事 菊池種子、担当 義務教育課指導主事 滝口雄)	小・中	6月2日(火)	6月5日(金)
第3回	社会科 6月17日(水) 15:30～16:30	「社会科って楽しい！」を引き出す授業づくり 「社会科をどう教えたらいのか分からない。」そんな葛藤とした不安を抱えていませんか？暗記の社会科を脱却し、「社会科って楽しい！」という子どもの声を引き出す授業づくりについて考えます。新たな授業づくりにチャレンジしたい先生方の御参加をお待ちしています。 (担当 義務教育課指導主事 渡邊 匠彦)	小	6月3日(水)	6月5日(金)
第4回	算数・数学科 7月3日(金) 15:30～16:30	算数・数学の授業づくりについて 第2回 ～授業で「学び合う」子どもを目指して～ 「『学びの変革』授業デザイン」にある「学び合う」に焦点を当て、算数・数学の授業づくりについて考える第2回目（全3回）です。子どもが算数・数学で他者と協働しながら学習を深めたいけるようにするための工夫について考えます。 (担当 義務教育課指導主事 奥 仁、先崎浩之)	小・中	6月19日(金)	6月22日(月)
第5回	国語科 7月28日(火) 15:30～16:30	授業づくりの本質は教材研究にあり！（小学校編） ～「たずねびと」（光村図書・5年）の教材研究を応援～ 小学校国語教材「たずねびと」（光村図書5年）を取り上げ、教材のもつ魅力や価値に迫る研修会です。授業づくりにいかせる具体的なヒントを共有したいと思っておりますので、この機会にぜひ御参加ください。 (担当 義務教育課指導主事 川崎修司)	小	7月14日(火)	7月17日(金)
第6回	理科 7月29日(水) 15:30～16:30	「全国学調から植解く！理科授業づくりの大切な視点」 昨年度実施された全国学力・学習状況調査から、理科の問題や質問調査、それらの結果を基に理科の授業づくりを考える上で大切にしたい視点について協議します。 (担当 義務教育課指導主事 本多正典)	小・中	7月15日(水)	7月17日(金)
第7回	算数・数学科 7月30日(木) 15:30～16:30	算数・数学の授業づくりについて 第3回 ～授業で「学びとる」子どもを目指して～ 「『学びの変革』授業デザイン」にある「学びとる」に焦点を当て、算数・数学の授業づくりについて考える第3回目（全3回）です。子どもが「分かった」「できた」を実感できるようにするための工夫について考えます。 (担当 義務教育課指導主事 奥 仁、先崎浩之)	小・中	7月16日(木)	7月20日(月)
第8回	数学科 8月20日(木) 15:10～16:30	中学校数学 全国学調を授業改善に役立てよう！ 本年度の全国学力・学習状況調査（中学校数学）の出題意図や報告書から授業改善につながるポイントを読み取ります。2学期からの授業づくりのヒントを皆さんと一緒に考えていきます。指導主事からの講話が中心の研修となります。 (講話60分グループ協議20分) (担当 義務教育課指導主事 甚野隆洋)	小・中	8月6日(木)	8月10日(月)

学習を深め、広げる授業、学習内容が確実に定着する授業など、児童生徒の資質・能力を確実に育成する授業づくりに向けた支援を行っています。

- 👉 すべて、15：30～16：30の1時間での実施です。
- 👉 オンラインで気軽に参加できます。
- 👉 Plantですぐに申込ができます。

※学期ごとに、各学校に案内文書を送付しています。

義務教育課のホームページにも記載しています→

ひとりでは抱えない。みんなでつくる、これからの授業デザイン。

授業の魅力化応援 オンライン研修会

教科の見方・考え方を開かせるためにできることは何か。ICTをどう味方につけるか。回り道のある子どもへの支援は、今の方法で正しいのか。
ひとりでは抱えきれない。みんなで考えれば新しいアイデアがきっと見つかります。誰一人取り残さず子どもたちの力を伸ばすための「授業デザイン」について、参加しやすいオンライン形式で気軽に学べる場を提供します。

開催方法
GoogleMeetによる
完全オンライン

メリット
自分の時間に応じて講座を受講。
研修期間中は、受講者のみで完全プライベート。他校の研修生も参加可能。

対象者
小・中・義務教育学校の教員
市町村教育委員会の指導主事
研修センター指導主事等

Plantによる申込手順

- 1 全国教員研修プラットフォーム「Plant」にログインする。
<https://plant.nits.go.jp/>
- 2 利用者TOPページ
検索欄上部にある「研修検索」をクリックする。
- 3 検索エリアに「授業の魅力化」などと入力し、検索を検索する。
- 4 講座を選び、「申込」をクリック。内容を確認の上、「再度申込」をクリックして完了。

申込地終了後、所属長や市町村教育委員会が「研修受講の承認」を行います。そのため、申込の完了を所属長に直接報告すると、申込がスムーズに進みます。

申込後、Plantでのキャンセル処理はできません。キャンセルする場合には、学校管理職を通して市町村教育委員会へご連絡ください。なお、研修当日の欠席連絡は、直接義務教育課 研修支援チームへお電話をお願いします。

お問い合わせ
福島県教育庁義務教育課 研修支援チーム
☎ 024(521)8733



算数・数学授業づくり支援訪問



～「令和8年度 算数・数学授業づくり支援訪問」の御案内～

算数・数学の授業を
一緒にブラッシュアップしませんか？

？こんなお悩みはありませんか？

- ✓「授業スタンダード」や『学びの変革』授業デザインを具体的にどう活用すればいいのかが悩んでいる
- ✓「ふくしま学力調査」の結果を、授業改善にどうつなげるのかが話し合いたい
- ✓若手からベテランまで、チームとして授業力を高めたい
- ✓教材研究の視点を深めたい など

☀ 本事業の3つのメリット

- 継続的な伴走支援
1回きりで終わりではありません。複数回の訪問を通じ、学校の課題にじっくり寄り添います。
- オーダーメイドの研修内容
授業参観・事後研究会はもちろん、教材研究の相談やオンラインでの支援も可能です。
- チーム全体のレベルアップ
教員一人の支援だけではなく、複数の教員が参加できる研修を支援。校内研修の充実を強力にバックアップします。

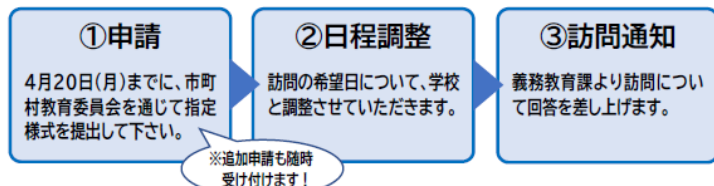
福島の子どものための未来のために、算数・数学の学力向上を目指して、指導主事等が貴校の授業づくりや校内研修を全力でサポートします！
(支援訪問の具体的な内容は裏面をご覧ください。)



■ 実施概要

訪問期間	令和8年5月11日(月)～令和9年2月26日(金)
対象	市町村立の小学校、中学校、義務教育学校

■ お申し込みの流れ



算数・数学の学力向上を目指して、本庁の指導主事が授業づくりや校内研修をサポートします。

- ☞ 授業づくりに向けた教材研究等における支援
- ☞ 算数・数学の授業参観及び事後研究における支援
- ☞ ふくしま学力調査の結果分析を活用した校内研修等における支援

たくさんの学校の参加をお待ちしております。



随時申し込み 受付中

【お問い合わせ】 福島県教育庁義務教育課 研修支援チーム
TEL 024-521-8733

※すでに各学校に案内文書を送付しています。

ふくしま学力調査 ハイブリッド型分析研修会



ふくしま学力調査の分析でお困りはありませんか？

- たくさんの種類がある結果帳票のデータは、どの帳票から見ればいいのか？
- ほかの業務が忙しくて、調査結果の分析についての校内研修会を準備する時間がないなあ。

そのお困り事
この研修会で
一気に解決！

ふくしま学力調査の**分析**に係る
校内研修をオンラインで**サポート**します！

学校全体で、
子どものよさを
捉えるチャンス！

分析のプロの
知見で、自校の
課題を明確に！

ふくしま学力調査 ハイブリッド型 分析研修会

分析→活用→指導改善へ 学校全体で考える90分！

こんな先生方におすすめ！

- 帳票データの
見方がよく
分らない
- 忙しくて
分析の時間を
確保できない
- 学校全体で
子どものよさを
話し合いたい
- 指導改善に
つなげたい
- 福島県の子どもの
未来のために一緒に
取り組みましょう！

- 1 分析のプロによる
レクチャー！**
学力調査担当者による
結果帳票を活用した
具体的な分析方法を解説
- 2 自校の帳票を基に
早速、分析！**
グループワークで
帳票を活用しながら
自校のよさを分析
- 3 先生方の指導の
目標合わせ！**
先生方の多面的・多角的な
分析内容を共有し
指導の視点を共有

日時 (どちらも同内容です)

第1回 9月4日(金) 15:00~16:30
第2回 9月16日(水) 15:00~16:30

研修の内容 (90分)

① 趣旨説明 (県教委) → ② 分析レクチャー (調査担当者) → ③ 参加校ごとのグループワーク → ④ 校内共有・全体共有 (協賛校長・事務)

「分析して終わり」にしない構成！

実施方法
オンライン+校内グループワーク
(ハイブリッド型)

※ グループワークの都合上、
小学校は9名、中学校は6名以上の
参加が望ましいですが、人数に満たなくても
研修会へ参加可能です。

学校の準備物

- ふくしま学力調査の結果
(帳票28, 40, 48)
- 模造紙、付箋、マーカー

お申込はこちら！
右の二次元コードから
申込フォームへアクセスし
必要事項をご回答ください。
申込〆切: 8月31日(月)

お問い合わせ：福島県教育庁 義務教育課 (024-521-8733)

ふくしま学力調査の分析に係る校内研修を
オンラインでサポートします

<実施日時> ※どちらも同じ内容です。

- ① 9月 4日 (金) 15:00 ~ 16:30
- ② 9月 16日 (水) 15:00 ~ 16:30

- ☞ 学校全体で「分析→活用→指導改善」を考える90分
- ☞ 分析のプロ（調査担当者）による結果分析方法の解説
- ☞ オンラインで各校の研修を同時につなぐ



たくさんの学校の参加をお待ちしております。

申込〆切・・・8/31 (月)

※すでに各学校に案内文書を送付しています。

イノベーション人材育成推進教員による授業研究会

先生方の授業スキルアップに

算数 数学

イノベ教員授業研究会

より質の高い算数・数学科の授業をしたいという先生。授業スキルのアップを目指す先生。算数・数学が専門ではないという先生も。自分自身の力を伸ばすチャンスです！

<p>松沢小学校 福田雄介 教諭</p> <p>第1回 9月18日 金 13:15~ 授業</p> <p>第5学年「図形の角」 第6学年「拡大図と縮図」</p> <p>菅原教授 講演あり</p>	<p>田島中学校 諏訪裕大 教諭</p> <p>第1回 7月8日 水 13:45~ 授業</p> <p>第3学年「2次方程式」</p>
<p>第2回 11月20日 金 13:15~ 授業</p> <p>第5学年「単位量あたりの大きさ」 第6学年「円の面積」</p>	<p>第2回 12月8日 火 13:45~ 授業</p> <p>第3学年「円」</p> <p>菅原教授 講演あり</p>

講演 講師

東北福祉大学 教育学部 教育学科 教授 **菅原 敏彦** 氏

算数・数学のよさや面白さを教えるためには、教える人が教えるべきことのおもしろさ、重要性、便利などを味わい、より深く探求していくことが大切です。子供の「気付き」や「発見」を生かしながら、算数・数学を教えてみたいと思いませんか。
(東北福祉大学HPより抜粋)

※ 日程等は、変更になる場合があります。

各授業研究会の1か月前を目安に、参加の案内をいたします。参加を希望される方は、予定を確認しておいてください！
福島県教育庁 南会津教育事務所

理科 イノベ教員 授業研究会

前会津町に隕石落下!?

今年度のテーマは宇宙です

<p>日時 9/11 (金) 13:00~ 受付</p> <p>会場 南会津町立館岩小学校</p> <p>授業者 増島 哲也</p> <p>学年 第6学年</p> <p>単元 「月の形と太陽」</p>	<p>講演あります</p> <p>田村市星の村天文台名誉台長 大野 裕明 氏</p> <p>「宙を楽しむ理科授業(仮題)」</p>
<p>日時 10/20 (火) 13:15~ 受付</p> <p>会場 檜枝岐村立檜枝岐中学校</p> <p>授業者 山浦 瑞穂</p> <p>学年 第3学年</p> <p>単元 「地球と宇宙」</p>	<p>日時 11/19 (木) 13:15~ 受付</p> <p>会場 檜枝岐村立檜枝岐小・中学校</p> <p>授業者 増島 哲也 ・ 山浦 瑞穂</p> <p>学年 小学校第6学年 ・ 中学校第3学年</p> <p>単元 「月の形と太陽」 ・ 「地球と宇宙」</p>

小・中学校の系統性を意識したコラボ授業!

各授業研究会の1か月前を目安に、参加の案内をいたします。参加を希望される方は、予定を確認しておいてください！ ※ 予算は当方で準備します。
福島県教育庁南会津教育事務所

算数、数学、理科を担当していなくても。異校種でも。参加可能です！

学級・授業づくりセミナー

先生方の半日を
子供たちの未来のために

8/21 金

学級・授業づくり セミナー

in 田島小学校

全体講義
13:10~14:00 先輩から学ぶ 教師の基本的な指導技術

選択制の6つのセミナー

みんなで考えよう！ 複式授業	通常学級でも大切にしたい！ 通級指導	10分早く帰りたい！ AI入門
高めよう！ 子供の自己効力感	つながる学び！ 幼保小連携	明日からできる！ 居場所づくり

※ 詳しくは要項をご覧ください

現場の先生方を講師にして、参加者全員で創り上げるセミナーです。

夏休みに域内で行われるため、多忙な先生方にとっては、比較的参加しやすい貴重な研修の機会かと思えます。

たくさんの先生方のご参加をお待ちしております。

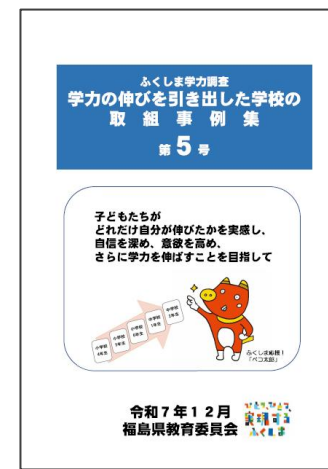
参考資料①



「学びの変革」授業デザイン
(令和7年3月)



令和7年度授業改善グランドデザイン
(令和7年8月)



学力の伸びを引き出した学校の
取組事例集〔第5号〕
(令和7年12月)



参考資料②



ふくしまの「授業スタンダード」
(平成29年4月)



「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」
のためのサポートマガジン『みるみる』
(令和7年4月 文部科学省 | 授業づくりnote)

